

# 新年

平成25年の新春を迎えるにあたり、ご挨拶を申し上げます。昨年末、国政に大きな変化があり、国の諸問題が一気に解決へ向かって進み出ることが期待されます。富士見町にも、より良い影響が出ることを期待すると同時に、「国や県からの支援」のチャンス獲得に、積極的に挑戦したいと思います。

昨年富士見町では大きな自然災害もなく、農作物は平年を少し上回る状況、しかし産業関係は尖閣・竹島問題に端を発した日本経済の大幅な落ち込みが、富士見町の産業に大変暗い影を落としています。昨年秋から多くの皆様には、厳しい経営を強いられていると思われますが、何かと耐え凌いでいただければと願っています。今年は新政権のもと、安定した国政が実施され、まずは経済対策を最優先に実施していただきことを切に希望しています。

一方、富士見町行政は『継続と改革』をスローガンに諸施策を実行し、進展があつたと感じています。中でも太陽熱エネルギー、メガソーラーをスタートさせ「自然エネルギーの町 富士見」を全国にアピールできました。さらに、「教育の町 富士見」も大きく進展させることができました。

今年も、安心で住みよい町、活気のある町づくりを目指し、力強く前進したいと思いますので、皆様のご支援、ご協力を宜しくお願ひ申し上げます。



富士見町長 小林一彦

朝焼けの富士山（富里）

# 謹 賀



富士見町議会議長 織田昭雄

町民の皆様におかれましては、輝かしい新春を健やかにお迎えの事と心よりお慶び申し上げます。新しい年が、富士見町に繁栄をもたらす素晴らしい年になりますよう、心から願っております。

新生富士見町議会も、四月には任期の折り返し点二年が経過いたしますが、この一年半程の間には幾つかの重要案件を議決してまいりました。残りの任期においても「住んでいてよかつた町」「住んでみたい町」を目指して邁進していく所存でございます。

昨年より、新たに進めてまいりました議会改革検討委員会につきましては、足元をしつかりと見つめ直し、富士見らしさを基本に話し合いを重ねてまいりました。今年からは、いよいよ具体的な形に表して実行していく年といたします。

また、町の新しい事業についても議会と行政がスクラムを組んで、富士見町の将来の発展のために尽くしてまいりますので、町民の皆様の変わらぬご理解と、ご指導ご鞭撻のほどを賜りますようお願い申し上げます。